

天溪 2014年「花のスイス・アルプスハイキング9日間」

6月19日発

天溪海外トレッキングの入門コース「花のスイス・アルプスハイキング9日間」を6月19日～6月27日 及び6月27日～7月5日の2回続けて行いました。今年も昨年に続きこの時期にしては残雪が多かったものの、早咲き、遅咲きの花が一斉に咲き、花弁も大きく、美しい花のハイキングが楽しめました。



(アイガー北壁 6月21日)

○グリンデルワルド

アイガーやユングフラウの峰々に対しグリンデルワルドを挟んで反対側の斜面にあるフィルスト周辺はお花畑が綺麗な所です。何時になくアイガーを始めとするベルナーオーバーラントの山々が美しく望め、花のハイキングを堪能しました。



(フィルスト 6月20日)





○ユングフラウヨッホからメンリッヘン

ここ数年無かった無風快晴のユングフラウヨッホを楽しんだ後、アイガーグレッシャー駅で登山電車を降り、クライネシャイディックを通りメンリッヘンまでハイキングを続けました。雪解けの遅れや 6 月上旬の天候不順など原因は分かりませんが早夏に咲くアネモネ、クロッカス、翁草が見ごろでした。



(アイガー・メンヒ・ユングフラウ 6月21日)





(ベッターホルン 6月22日)

ベッターホルンは訳すとお天気山。朝、この山裾に黄金色の見事な後光が入りました。神のお告げのようなこの光線は良い知らせ、悪い知らせ？ 結果、アイガーの頂は隠れてしまいましたが、まずまずの天候でした。

○サースフェー

カンドルシュテーク駅でバスを貨車(カートレール)に載せてトンネルを越えると物凄い夕立が。グリンデルワルドの山城とツェルマットの山城は直線距離にして数十キロですが何時も天気の違いを感じます。

所でサースフェー入りしたこの日はツールドスイス(自転車レース)の第9ステージ(マルティニ〜サースフェー156.5Km)が行われました。沿道を埋め尽くす観衆に迎えられながらサースフェー入り、と言うのは我々のバスが到着してから40分後にトップのルイ・コスタがゴールイン。



(サースフェー 6月23日)



○ツェルマツト

快晴サーズフェーの余勢をかってツェルマツト入りも、午後のマツターホルンが美しく映えました。翌朝は真っ赤に染まるモルゲンロートのマツターホルンを期待しましたが何故かこの日は外れで赤くならず！一寸がっかりでしたがまずまずのマツターホルンを見ることができました。



(マツターホルン 6月24日)



○シャモニ

スイス・フランス国境を越えコル・デ・モンテにさしかかったころモンブラン山頂が綺麗に見えていました。お昼を仕入エギュードミデへ向かうころからガスが湧き、山頂に到着した時は視界ゼロに。久しぶりにやられた感じ。山頂で少し粘られた方もおりましたがモンブランは顔を見せてくれませんでした。残念!!



(見えぬ辺りがモンブラン山頂 6月25日)

次回は6月27日発「花のスイス・アルプスハイキング9日間」の様子をお伝えします。

記 天溪 赤沼